

## RSウイルス感染症予防接種(母子免疫ワクチン)を受ける方へ

## 【対象者】

接種時点で妊娠28週0日から36週6日までの妊婦の方  
過去の妊娠時に組換えRSウイルスワクチンを接種したことのある方も対象です。

## 【実施場所】

裏面の指定医療機関一覧表をご覧ください。  
※指定医療機関で接種できない場合は、事前に保健センターにお問い合わせください。

## 【一般的注意】

- 事前に予約が必要です（詳しくは各指定医療機関にお問い合わせください。）  
予約時に伝えること  

予防接種の種類・・・RSウイルス感染症予防接種 接種を受ける人の氏名、生年月日、妊娠週数、住所、電話番号、 最近接種した予防接種名と接種年月日
---
- 予約日に、都合により接種できない場合や体調が悪い場合は、予約先に連絡し予約日を変更してください。
- 予診票は事前に記入してください。
  - 太枠内を、**黒のボールペン**で記入してください。
  - 診察前体温は、接種前に医療機関で測定した体温を記入します。
- 接種当日は、児の母子健康手帳、予診票、本人確認書類（マイナ保険証等）を持参してください。
- 接種は健康状態が良好なときに受けてください。
- 右側の「RSウイルス感染症予防接種について」をよく読み、必要性や副反応についてよくご理解のうえ、接種を受けてください。
- 住民登録のない方は、事前に保健センターへご相談ください。

## 【予防接種を受けることができない方】

- 発熱している方（医療機関で37.5度以上）
  - 重篤な急性疾患にかかっている方
  - このワクチンの成分によって、「アナフィラキシー※」を起こしたことのある方  
※アナフィラキシーとは接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。
  - その他、医師に予防接種を受けない方がよいといわれた方
- ※1～4には入らなくても医師が当日の診察の結果、接種不相当と判断した場合は接種できません。

## 【予防接種を受けるに際し、あらかじめ医師とよく相談する必要がある方】

- 妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと医師に判断された方や、今までに妊娠高血圧症候群と診断された方
- 血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方
- 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- 予防接種を受けて接種後2日以内に発熱の見られた方及び全身の発疹等のアレルギー症状を疑う症状があった方
- 過去にけいれんの既往がある方
- 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは近親者に先天性免疫不全の人がいる方
- このワクチンの成分に対して、アレルギーを呈するおそれのある方
- 授乳を行っている方

## RSウイルス感染症予防接種について

## ★ 病気の説明

RSウイルスは特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が、少なくとも1度は感染するとされています。感染すると、2～8日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。

RSウイルスの流行には季節性があり、新型コロナウイルスの流行以前は秋冬に流行が見られましたが、近年は夏に流行がみられています。接触・飛沫感染により伝播するため、手洗いや手指衛生といった基本的な感染対策が有効です。治療は症状に応じた治療（対症療法）が中心で、重症化した場合には酸素投与、点滴、呼吸管理などを行います。

## ★ ワクチンの説明（母子免疫ワクチンとは）

生まれたばかりの乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。生後約6か月間、RSウイルス感染による重症化の予防が期待されます。

接種後14日以内に出生した乳児における有効性は確立しておりません。妊娠39週に至るまでの間に出産（妊娠終了）を予定している場合は、その14日前までに接種完了することをお勧めします。

## ★ ワクチンの副反応

ワクチンを接種後に右表のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシーがみられることがあります。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

発現割合	主な副反応
10%以上	注射部位の痛み・圧痛、頭痛、筋肉痛
10%未満	注射部位の紅斑、腫脹
頻度不明	発疹、蕁麻疹

## 【接種後の注意】

- 接種後30分は、注意深い観察が必要です。病院内で椅子に座るなどして様子をみます。
- 接種した当日は、安静に過ごしてください
- 接種した部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう
- 接種部位の変化、接種後の体調の変化に注意してください。
- 接種部位の異常や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常な症状がみられる場合には、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 重い健康被害が生じた場合、厚生労働大臣が予防接種によるものと認定したときは、予防接種健康被害救済制度の給付対象となります。

お問い合わせは各市町村の保健センターへ

津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村